

# かつらおハッカソン事業のご報告

2025/02/26

# 1.0 目次

---



- 1.団体と取り組みの概要
- 2.取り組みの概要と目的
- 3.取り組みの成果・実績
- 4.今後に向けて

1

## 団体の概要



# 1.1 団体のご紹介

ReLU Branchは、新たな選択肢を生み出し“暮らす”を豊かにすることを目指しています。

## 団体概要

### 理念について

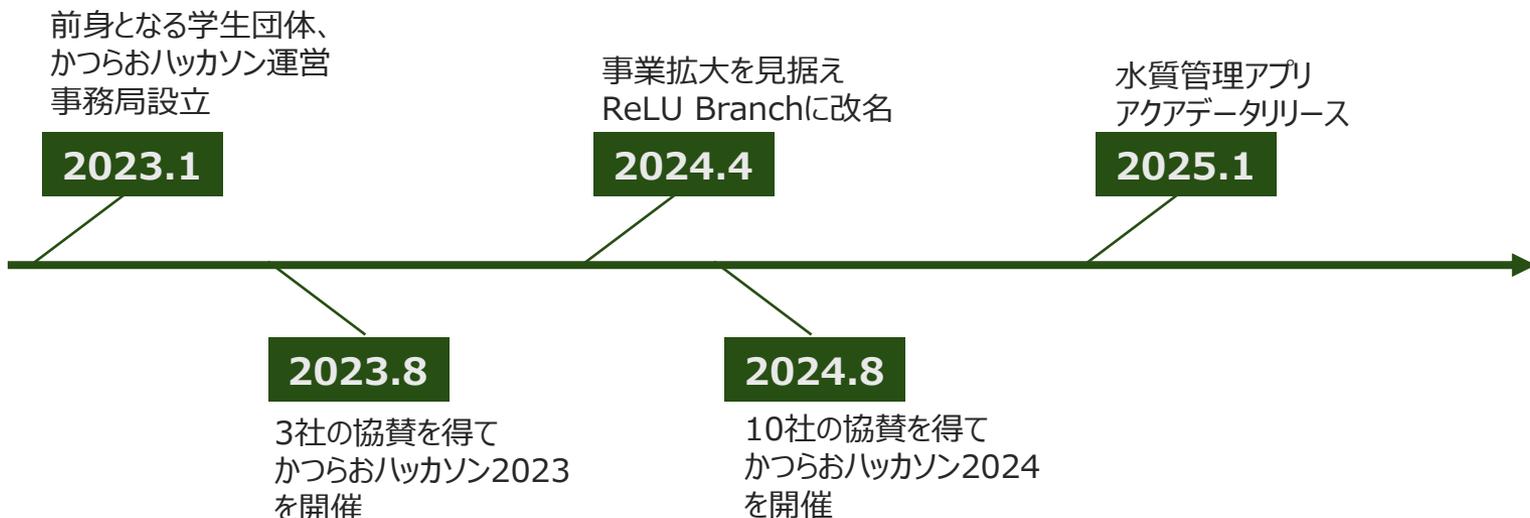
#### 「地域に、新しい選択肢を。」

地域の文化や人とのつながり、新しい働き方やテクノロジーの活用など、それぞれの選択肢が交わることで、新たな可能性が生まれると考えています

### 構成員について

現在は、東京・福島在住の大学生・社会人7名が所属

## 沿革



## 2

## 取り組みの概要と目的



## 2.1 かつらおハッカソン事業のご紹介

ReLU Branchは本年度、「かつらおハッカソン事業」を実施しました。

### 概要

大学生エンジニア向けに、葛尾村でのプログラミング合宿を含むプログラミングのコンテスト、かつらおハッカソンを開催した

### かつらお ハッカソ ン事業

### 取り 組み

- **若者に、葛尾村でのエンジニアとしての暮らしを体感してもらう**
  - 実際に葛尾村でプロのエンジニアと一緒に働いてもらうことで、将来自分が地方でエンジニアとして働くイメージを持ってもらう
- **地域企業に、“IT”を体感してもらう**
  - 合宿では、学生が地域企業で業務の体験とヒアリングを行い、それをもとに業務をIT化するためのアプリ/サービスのアイデア出し、設計を行う。都内のIT企業のエンジニアが伴走し、サポートを行う。

## 2.2 かつらおハッカソン事業の目的



かつらおハッカソンには、2つの目的があります。

首都圏の学生に、  
“地方で暮らす”  
という選択肢を。

地域企業に、  
“IT導入”  
という選択肢を。

## 2.2 かつらおハッカソン事業の目的



かつらおハッカソンには、2つの目的があります。

首都圏の学生に、  
“地方で暮らす”  
という選択肢を。

地域企業に、  
“IT導入”  
という選択肢を。

## 2.3 福島県葛尾（かつらお）村とは？

葛尾村は、若者の関係人口創出に成功した村だと言えます。

### ■葛尾村の基本情報

福島県の東側（浜通り）に位置する小さな村。

2011年の震災後、**一時は全村避難を余儀なくされたが**、現在は約400人ほどが暮らす。

車で福島市、郡山市からそれぞれ1時間半程度の場所にあり、四方を山や田畑に囲まれた自然豊かな地域。

葛尾村の所在地



引用 : [https://hopewhite.jp/user\\_data/aboutvillage01.php](https://hopewhite.jp/user_data/aboutvillage01.php)

### ■関係人口づくりの成功

葛尾村は若者との関係性づくりに力を入れてきた結果、学生との関係人口づくりには成功し多くの学生が継続的に村を訪れている。

その意味で、葛尾村は若者の関係人口づくりに成功していると捉えている。

復興創生インターンシップ（復興庁）



2019-2022





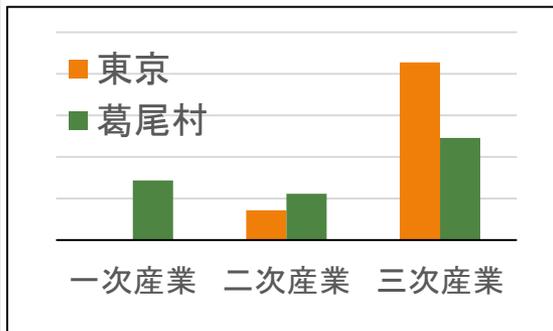
葛尾村で、“**選択肢**”を増やしたい

## 2.5 移住においてエンジニアという選択肢を

ReLU Branchは葛尾村とエンジニアの相性が良いと考えています。

### 選択肢の多様化

ITエンジニアは、これまでの葛尾村での仕事とは全く異なる仕事である



ホームメイト 市場調査より(2024.05.07)

### 若者に魅力的な職業

ITエンジニアは、**若者を中心に**近年人気が高まっている職業である

大学生の就職先としてIT業界に人気が集まる。背景にはDX需要の高まりからくる安定した業績がある。ただし、採用でオンラインを使いきらせていないIT企業は学生の支持を失いつつある。

「IT業界志望を口にする学生が明らかに増えている」。――。昭和女子大学の磯野彰彦キャリア支援センター長は2023年春に卒業する大学生の就職活動（23年卒採用）についてこのように述べる。数年前までITエンジニアとして就職する学生は20～40人程度だったが、2021年4月の就職者で93人、2022年4月の就職者は104人と右肩上がりになっている。

日経クロステック記事より(2022.05.10)

### 働き方の柔軟さ

ITエンジニアはネット環境さえあれば働くことができる。そのため、**リモートワークの制度**を利用することで、村外の企業に就職することが可能。**地域にしながら都市部の給料**が得られるのは、生活面でのメリットになる。

### IT機運の高まり

IT企業である株式会社ORENDA WORLDの**葛尾村にデータセンターを立地**することが決まり、今後村にエンジニアが出入りするようになってくる。

株式会社ORENDA WORLD、福島県葛尾村にデータセンターを立地  
-高度DX人材育成データセンター建設及び高度DX人材育成事業-



## 2.6 かつらおハッカソンの目的



かつらおハッカソンには、2つの目的があります。

首都圏の学生に、  
“地方で暮らす”  
という選択肢を。

地域企業に、  
“IT導入”  
という選択肢を。

## 2.7 地域企業へのアプローチ

かつらおハッカソン事業では地域全体をIT化するための第一歩となる「そもそもIT化するとどんな良いことがあるのか？」という問いに答えることを目指しています。

### IT導入の疑問

#### WHY ?

#### なぜIT化すると良いのか？

- ・IT化しなくても仕事は回っている
- ・ITを入れるメリットがわからない

#### WHAT ?

#### 何をIT化できるのか？

- ・どの業務を改善したらいいかわからない
- ・導入によってどのような成果が期待できるのかわからない

#### HOW ?

#### IT化をどうやるのか？

- ・やり方がわからない、予算がない
- ・エンジニアのつてがない

### かつらおハッカソンのアプローチ

#### ハッカソンを通じた“IT体験”

イベントの中で参加者がアプリ/サービスを実際に提案&開発するため、

#### 何がIT化できて

どういう効果があるのかをイメージしやすい

#### ハッカソン後のつながりづくり

ReLU Branch自身もエンジニア集団であり、実際にアプリ開発が可能。また、その他にも協賛企業にIT企業も多く、開発依頼も可能。

3

## 取り組みの成果・実績



## 3.1 かつらおハッカソン2024の実施内容

かつらおハッカソン2024は村内企業、株式会社HANERU葛尾とタイアップして実施し、参加者に実際に企業を訪問・課題のヒアリングやその課題解決のためのアプリ開発を行っていただきました。

### 参加者がHANERU葛尾の課題をヒアリング

- ・ 実際に地域企業の業務体験やヒアリングを行い、開発するアプリを考えます。



### 村内の施設で開発

- ・ Katsurao Collectiveの運営するworkspace HATAKEにて開発作業を行いました



## 3.2 かつらおハッカソン2024の取り組み実績



かつらおハッカソンは下記のようなスケジュールで実施し、東京をはじめ全国から15名の参加者が参加しました。

### スケジュールについて

葛尾合宿

(8/22-8/24)

開発期間

(8/25-9/6)

最終発表会

(9/8)

### 参加者について

ターゲット

開発経験がある学生  
地域社会への関心がある学生

参加人数

15名

参加者居住地

関東 8名  
関西 4名  
東北 2名  
四国 1名

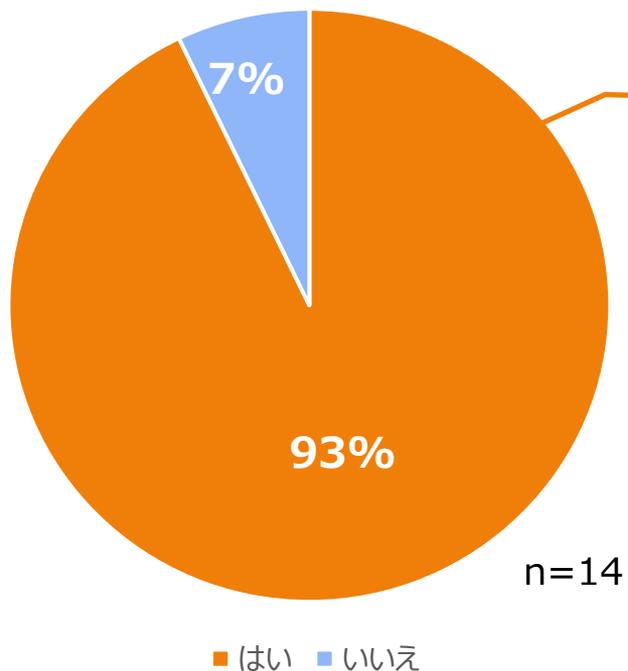
### 3.3 2024年度の成果（対参加者）

参加者のアンケートでは、今後も継続してイノベ地域に関わりたいたとした方が93%。具体的には、IT化・ソリューション提案などによる課題解決に関わりたいたいの声が見られました。

設問

今後も継続的にイノベ地域での滞在型イベント（かつらおハッカソン含む）に関わりたいですか？ / どのような関わり方をしていきたいか教えてください。

回答



継続して関わりたいと回答した方が  
**93%**

具体的にどのようなかかわり方をしていきたいか？

- ・イノベ地域は人手不足が問題なことが多いと思うので、ITによって作業効率化や、人手を集めるといったアプローチをしたい。
- ・今回と同様にイノベ地域における未解決の課題に対して、ソリューション提案をすることで価値を提供できれば良いのではないかと思います。

## 3.4 2024年度の成果（対地域企業）①

葛尾村でエビの陸上養殖に取り組む、HANERU葛尾様にハッカソン参加学生が提案を行い、アプリで何ができるのか？のイメージを持っていただきました。

HANERU葛尾様のための  
水質検査システムの提案

2024年9月8日 最終発表@渋谷ヒカリエ  
チーム名：CS25（中川、二宮、坂本、玉崎）

2024年9月8日  
チームネモフィラ：村田航志、松岡弘洋

測定データの自動保存する  
iPhoneアプリの開発

1

インタラクティブなグラフ操作が  
できるディスカッション促進アプリ

チーム ひろのじ  
中谷、西田、Yap、岡崎

POCKET SHRIMP MONITOR  
ポケットエビモニ  
Made by Calat

赤神、太田、小塚、山口

## 3.5 2024年度の成果（対地域企業）②

さらにハッカソンで生まれた1つのアイデアが、現場で実際に導入され業務改善を実現しています。



## 3.6 協賛・後援など

葛尾村役場・HANERU葛尾など葛尾村の企業等はもちろん、株式会社スカラ・株式会社ORENDA WORLDなどのIT企業や、周辺地域の企業等からも応援いただいています。

- ・ 葛尾村
- ・ HANERU葛尾
- ・ 株式会社スカラ
- ・ 株式会社ORENDA WORLD
- ・ 一般社団法人葛尾むらづくり公社
- ・ あぶくま信用金庫
- ・ 株式会社OMJテクノソリューションズ
- ・ 株式会社 牛屋
- ・ Wisteria株式会社



株式会社 HANERU 葛尾



ORENDA WORLD



あぶくま信用金庫



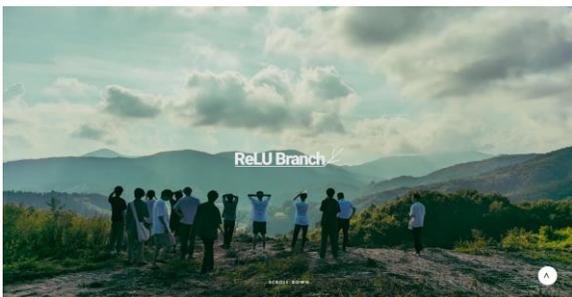
OMJ  
TECHNO SOLUTIONS

※敬称略

## 3.7 広報活動・メディア掲載実績

ReLU BranchのHPやnoteを開設しより一層広報活動に力を入れています。  
また、複数のメディアに掲載いただきました。

### HPやnoteの開設



かつらおハッカソンの活動を広報するため  
HPの開設も行いました



#### 【イベントレポート】 かつらおハッカソン2024

8

ReLU Branch (レールブランチ)  
2025年1月17日 22:38

突然ですが、皆さん、エビは好きですか？

実は日本人はエビが大好きで、2023年に1世帯当たりが消費したエビは1.3キロにもなるそうです。一方で、国内で食べられているエビの約9割が輸入に頼っているのが現状です。

メディアプラットフォーム  
noteも開設し、  
イベント広報活動を行っています

### メディア掲載実績

#### 葛尾の課題 ITで解決 学生、アプリなど開発競う ／福島

地域 | 福島 | 東北

毎日新聞 | 2024/8/26 | 地方版 | 有料記事 | 755文字



試作したスマートフォンアプリの機能を主催者らに説明する学生（左側）＝福島県葛尾村落合の村民会館で2024年8月24日、錦織祐一撮影

葛尾村の社会課題をITで解決するアイデアを実現するため、学生たちがプログラム開発を競う「かつらおハッカソン」が村内で開催され、24日に中間報告会が村民会館（同村落合）であった。全国から集まった学生4チーム計13人は村に2泊滞在し、実際にスマートフォンアプリなどを試作し提案した。

「ハッカソン」はプログラミングを意味

かつらおハッカソンのメディア掲載  
・毎日新聞

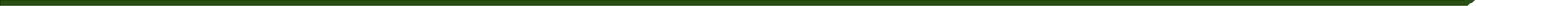
アプリ実装発表会のメディア掲載  
・毎日新聞  
・読売新聞  
・福島民報

4

今後に向けて



## 4.1 来年度以降の自走に向けて



今年度は2社の資金協賛で足りない部分を申請しました。

来年度は資金協賛企業数をさらに2社増やすこと・アプリケーション事業の売り上げを充てることでかつらおハッカソン事業としての黒字化を見込んでいます。

地域に、新しい選択肢を。

ReLU Branch 